企業・団体名（　　岡田海苔株式会社　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・障害、性別、年齢などによる差別のない採用・就業体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・新入社員向けの外部講習を利用しハラスメント教育を実施している ・日々の業務の中で就業規則に関する社員指導を行っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・専門家の指導のもと労働基準法の内容確認を行っている ・新規雇用により適正な人員配置を実施し、長時間労働とならないようにしている ・業務終了後の早期退社を促し、社員のワークライフバランスに貢献している								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人雇用の実績は無い				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・作業マニュアルに基づき、機械類の作業前点検を実施し事故防止につとめている ・食品安全チームが中心となり、工場内の整理整頓・環境整備を行い、安全に作業ができるよう努めている ・空調機器の更新により快適な作業環境を提供している			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・心配事等がある場合は上司や同僚に相談できる体制をとっている ・部門ごとの懇親会の開催等により社内の親睦が図られている			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・従業員それぞれの能力、立場を考慮した適正な配置を行っている ・育児・介護休業規定により、子育てや介護がしやすい職場環境を整備している ・定年後の再雇用制度を設ける等、高齢者の雇用に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・JFS-B規格に基づく教育訓練計画により、毎月の社内教育及び年一回以上の外部研修機関による教育を行っている ・職務や役割に応じ、セミナーや展示会への参加を行い能力開発につなげている ・SDGsについての勉強会を実施している				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・雇用形態に関わらず、作業や習熟度にあった賃金体制を構築している ・法律に基づき適正な取り扱いを実施している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・従業員に定期的な健康診断を実施している			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の管理規定を策定している ・法律に従い廃棄物の分別保管、適正廃棄を実施している											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・当社全体のエネルギー使用量及びCO2排出量を、月次で把握している							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・毎月点検業者と消費電力について協議を行い、省エネに取り組んでいる ・工場照明のLED化を進めている ・一部インターネットを活用した受注により省エネ・省資源に努めている ・【予定】自社のCO2排出量削減に取り組む ・【予定】営業車を低燃費車両へ切り替えていく							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・有害化学物質の取扱いは無い			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・【予定】環境に配慮したバイオマスインキ使用資材を導入 ・【予定】紙フィルム(プラスチック低減品)資材を導入し、環境保全に取り組む						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・包装資材等の適正在庫管理により、廃棄ロスにつなげている ・規格外品の別商品への活用により廃棄ロスにつなげている ・再利用できる木箱の使用により段ボールの使用量を減らしている												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・従業員に節水を呼び掛け、意識を高めている						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境情報やSDGsについて当社HP等で情報発信していく												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】資材・備品等についてグリーン調達を進めて行く												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に明記し、従業員に周知している ・就業規則を順守している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に明記し、従業員に周知している ・就業規則を順守している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標登録等、知的財産権の取得・管理をしている ・新商品開発の際は商標登録の調査を行い、知的財産の侵害等がないように努めている								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・管理責任者を選任し、個人情報の漏洩防止に努めている ・就業規則に明記し、従業員に周知している																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物の取扱いは無い																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・購買管理マニュアルを制定し、サプライヤーの評価及び選定を行っている ・【予定】サプライヤーの評価対象項目に、環境・人権・コンプライアンスへの対応を加える					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・JFS-B規格の認証を取得しており、監査機関による定期的な監査を受けている ・JFS規格に基づく食品安全管理体制を構築している			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・JFS-B規格に基づいた品質管理を行っている ・常に適切な情報収集・把握・調査をし、品質向上に努めている									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・商品の規格を変更し、使用資材の低減を行っている ・環境に配慮した商品開発及び資材の調達を推進している ・【予定】環境に配慮したバイオマスインキ使用資材を導入 ・【予定】紙フィルム(プラスチック低減品)資材を導入し、環境保全に取り組む						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・廃棄ロス、食品ロスの削減に努めている ・化学調味料無添加の商品を提供することにより消費者の健康維持・促進に貢献している ・長期保存可能な商品の提供を行い、フードロス削減に貢献している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・当社事業活動が地域の住民に悪影響を与えないよう、敷地管理マニュアルに基づき適切に対応している ・地域の自治体行事に協力している				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・学校行事やイベントに協力及び協賛し、地域に貢献している ・全国の学校給食において食育につながる商品を企画・提案している ・学校給食に安全安心な海苔を提供することにより子供の健康維持に貢献している ・新商品の開発を行い海苔の販路拡大に努めることにより、生産者の保護に貢献している ・【予定】フードバンクへ食品の提供を検討				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・全国各地の学校給食及び地場産業向けに地産地消となる製品を企画、製造し、生産者の保護につなげている ・ワサビや唐辛子等県内産の材料を使用し、地産外商に貢献している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・食品安全の方針を掲示し、従業員全員に周知させている								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・就業規則やJFS-B規格マニュアルの整備、社内研修を通じて法令順守の重要性について周知徹底を図っている ・食品衛生法を順守した製品づくりを実施している ・休暇の取得促進を働き掛けている ・道路交通法を順守し、安全運転に努めている																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・JFS-B規格に基づく食品安全の管理体制が構築されている ・食品安全チームを設置し、体制の整備を行っている																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・顧客から商品に対する意見を聴取し、品質向上に努めている ・クレームに対し適切に対応し、再発防止に努めている																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・JFS-B規格に基づき、食品安全上のリスクを特定・評価し、適切な対策を講じている ・営業車の一部にドライブレコーダーを装備し交通事故が発生した場合のリスクに備えている ・安全運転講習の受講により交通事故の発生防止に努めている																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・地域における雇用創出のほか地域貢献につながる取り組みをしている ・地産地消、販路拡大により生産者保護に取り組んでいる ・環境に配慮した商品の開発に取り組んでいる ・【予定】海苔の包装をプラスチックから紙に切り替える																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・食品安全上の事故管理マニュアルを策定し、適切な対策を講じている ・原材料について代替品の調達が可能な先を選定し、災害発生時も事業継続に支障が無いようにしている									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者の育成に努めている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）